
0008. EXC型宛先管理登録

業務コード	業務名
UOC	EXC型宛先管理登録

1. 業務概要

データ送受信処理方式に関わらず、出力パターンがE X C型の宛先を出力情報コード単位（例：開庁時申告における許可通知情報等）に登録する。

2. 入力者

全利用者（税関、厚生労働省（食品）、動物検疫所、植物防疫所、入管（航空）、検疫所（人・航空）、厚生局等、輸出証明書等発給機関は除く）

3. 制限事項

出力情報コード「999999（バスケットコード）」の削除は実施できないこととする。

4. 入力条件

（1）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（3）出力情報コードDBチェック

入力された出力情報コードが出力情報コードDBに存在すること。

（4）利用者メールDBチェック

入力された利用者コード（5桁）とメールボックスIDが利用者メールDBに存在すること。

（5）端末管理DBチェック

入力された出力端末名が端末管理DBに存在すること。

（6）論理端末所有者DBチェック

①入力された出力論理端末名が論理端末所有者DBに存在すること。

②入力された出力論理端末名が入力者の所有する端末であること。

（7）利用者DBチェック

入力された出力先利用者コードが入力者であることのチェックを、以下のとおり行う。

送信先種別	入力者
I（即時型）	NACCSパッケージユーザ
	SMTP双方向利用者
	netAPI処理方式利用者
E（蓄積型）	NACCSパッケージユーザ
	SMTP双方向利用者
	netAPI処理方式利用者

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) E X C型宛先管理DB処理

(A) 登録の場合

入力内容をE X C型宛先管理DBに登録する。

(B) 削除の場合

登録されている内容をE X C型宛先管理DBから削除する。

(3) E X C型宛先管理情報編集処理

E X C型宛先管理DBより編集処理を行う。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
E X C型宛先管理情報	なし	入力者

7. 特記事項

C S Fオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。（規制時間帯は別途定めることとする）